

豊岡市障害者福祉計画及び
第6期豊岡市障害福祉計画、第2期豊岡市障害児福祉計画
の策定に係るグループインタビュー結果報告書

2020 年 8 月

グループインタビューの実施概要

グループ	障害種別	参加者	日時	場所
A	肢体障害 内部障害者	障害者本人 支援者等	2020年7月27日(月) 10:30~12:00	豊岡健康福祉センター 3階 第2会議室
B	視覚障害者	障害者本人 支援者等	2020年7月17日(金) 10:30~12:00	豊岡健康福祉センター 3階 第2会議室
C	聴覚障害者	障害者本人 支援者等	2020年7月7日(火) 19:30~21:00	豊岡健康福祉センター 2階 第1会議室
D	知的障害者	障害者本人 家族 支援者等	2020年7月25日(土) 12:30~14:00	豊岡地区コミュニティ センター1階 会議室
E	発達障害者	障害者本人 家族 支援者等	2020年7月29日(水) 13:30~15:00	豊岡地区コミュニティ センター2階相談会議室
F	精神障害者	障害者本人 家族 支援者等	2020年7月17日(金) 13:30~15:00	豊岡市役所立野庁舎1階 A会議室(障害者本人等) D会議室(家族等)
G	重症心身障害者	家族 支援者等	2020年7月13日(月) 13:30~15:00	北但広域療育センター 研修室
H	障害児等	家族 支援者等	2020年7月30日(木) 10:30~12:00	北但広域療育センター 研修室

A 肢体障害・内部障害者

項 目	内 容
地域生活	○バスの本数が少なく、また、バス停までが遠いので不便で使いにくい。コバスが以前は走っていたが、すぐにルートが変わり通らなくなった。 ○バスが道路の縁石があるところに停まるなどして、バスの停車位置によって乗降が難しくなるので改善してほしい。 ○美容室の椅子は高さがある、座りにくい。低い椅子がほしい。 ○移動販売があるが、販売の車両に乗り込んで買い物をするのは障害者にはできないので、商品を販売車の前に出してもらえないか。また、商品は自分の目で見て買いたい。市街地にも来てほしい。 ○アイティでの駐車は1時間無料であるが、3時間無料にしてほしい。(障害者は健常者に比べて、行動に時間がかかるため) ○市街地にトイレの表示があるが、障害者用のトイレの場所がわかりにくいので、わかるように大きく表示してほしい。 ○トイレが狭くて、車いすで入れないことがある。障害者用トイレを増やしてほしい。 ○古い建物にある点字ブロックの段差が高いので低くしてほしい。新しいタイプでは低くなっている。足に障害のある人は歩きにくい。
就労	○一般就労したいが、障害があるということで就労が難しく福祉就労になるが、一般就労が可能となる場が増えてほしい。
公的な施設整備	○市営住宅の前の道路で溝蓋の凹凸が多く、車椅子だけでなく、歩いている人も歩きにくいので、改修してほしい。エレベーター前に自転車が駐輪されており、移動の妨げになるので改善してほしい。 ○市役所に車で行くが、駐車場で駐車券が取りにくいので改善するか、駐車券が不要な障害者用スペースを整備してほしい。
福祉サービス	○高齢者の散髪の助成について、家に来てもらおうと助成が出るが、自分で店に行くと助成が出ない。交通費も負担になるので、負担を軽くできないか。 ○高齢者のタクシー券について、公共の建物に行く場合は助成の対象となるが、それ以外の外出でも対象を拡大してほしい。

B 視覚障害者

項 目	内 容
障害に関する理解、啓発等	○道路へのはみ出し（車、植木等）のため歩行の妨げになることに対する地域住民や警察の意識改革が必要である。 ○社協の結婚相談では、障害者が申込はできるが相手を紹介してもらえないため、改善を望む。
公的な施設整備	○公衆トイレの男性・女性用の入口の位置（左・右）が決まっていないため間違っ入ったり、トイレによって流す方法が違ったりするため、統一するよう改善してほしい。視覚障害者協会から全国的に提案してほしい。 ○施設整備は、中心部だけでなく市全域で実施してほしい。
交通（道路）	○視覚障害者には、歩道・車道をわかるようにする必要があるが、車椅子の人には段差はない方がよい。このようなことへの対応を検討してほしい。
障害福祉サービス	○家事援助では、読み書きの支援をしてもらえないので改善できないか。 ○同行援護で利用できる範囲が変わった（買い物、薬の受取）が、認識していないヘルパーがいる。豊岡市でも使えるようにしてほしい。
災害	○災害時の避難について、視覚障害者向け（文字の拡大、点字等）のマニュアルが必要である。 ○避難所で、人数が多いため帰るよう言われたことがあるが、障害者は夜に歩くことは困難であり、障害者が必ず入れるような避難所を準備してほしい。 ○災害時の行政サービスは、車で移動可能な人はサービスを受けられるが、そうでない人はサービスを受けられない現状があり、改善してほしい。（給水、温泉サービスなど） ○災害時は民生委員が対応することがあるが、プライバシーの問題、民生委員の高齢化などから困難な場合があり、民生委員の制度の改善が必要である。 ○近隣の人が災害時に誘導してくれてありがたいが、うまく誘導してもらえない場合があり、障害者の誘導方法を学ぶ場を設けてほしい。 ○避難所が遠いので避難できない。
行政	○市営住宅に入るための抽選では、何回か抽選に外れた場合、障害の有無に関係なく、外れた人は優先的に入れるようにしてほしい。また、申込みが多い場合、抽選になっているが、市営住宅は本来、生活困窮者を助けるものであり抽選前に、より生活に苦しんでいる人を優先すべきではないか。 ○市営住宅に一定割合の障害者枠がほしい。

C 聴覚障害者

項 目	内 容
地域生活	○地域生活で、隣保での情報が全く入ってこない。回覧板だけの情報はあがるが、細かい情報が入ってこない。コミュニケーションができないため付き合いを控えることになる。 ○日常的な情報は、防災無線の情報が多いが、それが聞こえないためわからないまま暮らしている。防災メールや FAX が社会福祉課から届いているが、コミュニティーセンターからも情報を発信できないか。 ○新型コロナ感染により、店などでマスクをしたまま話をされるので内容がわからない。
就労	○職場では、朝礼やミーティングの内容が、通訳もいないのでわからない。 ○職場でのコミュニケーションには手話が必要であり、筆談では難しい。
障害に関する理解、啓発等	○障害への理解が進んでいない。 ○手話通訳は進んできたが、住んでいる地域で手話ができる人がいないと進まない。そのあたりを地域住民、行政で進めてほしい。 ○障害者基本法では「手話は言語である」となっており、その認知度を広めることは重要である。 ○鳥取県では手話条例ができて、JR 駅員も手話ができるようになっている。手話は言語であり、福祉分野だけでの問題ではなく、社会全体の問題であることから、豊岡市でも条例化してほしい。
公的な施設整備	○公的施設の場合、放送は、電光掲示板などで視覚化してほしい。案内図もほしい。
障害福祉サービス	○要約筆記の支援をしたいが、個人情報の観点から難聴者とコンタクトがとれない。 ○コミュニケーション支援について、手話通訳者を増やそうとしても、その身分保障（経済的、正規職員になれる等）がないため、若い人も希望が持てない。 ○日常生活用具のフラッシュランプは、家族と同居でも認めてほしい。
災害	○災害時の場合、ふだんの付き合いがないと、大変になると聞いているが、周りの方の理解が進んでいるようには見えない。一方で、ろうあ者同士のつながりの方ができている。 ○災害時に正確な情報が入ってこない。（市からの FAX を見て避難所に行ったが、その避難所は開設されていなかったことがあった。） ○新型コロナ感染で自粛などになると助けてもらえないのではないかと不安である。 ○緊急の場合、事前に FAX 番号を登録することになっているが、ほとんど使わないので、スマートフォンですべきではないか。
教育	○豊岡市では、「ローカル&グローバル・コミュニケーション教育」を進めているが、コミュニケーションという意味では手話も同様であり、手話教育を学校の取組として早い段階からやってほしい。
行政	○市役所等で手続きをする場合、手話を使ってもらえれば、すぐに終わるが、それができないため改善してほしい。

D 知的障害者

項 目	内 容
地域生活	○公共交通機関が遅れた場合、その後の情報（発車時刻や到着時刻）がわからないので不安である。 ○グループホームで暮らし始めたが、日常のことは自分でできている。 ○障害のある子どもに対する親や家族の協力があまりにも少ない。 ○買い物に出る場合、バスに車椅子で乗車したいが、「乗ってください。」と言われるものの、実際は乗ってほしくなさそうに言われた。 ○車椅子で電車を利用し、エレベーター等のない無人駅で改札口と反対側で降りた場合、鉄道路線をまたぐ橋を渡ることができない。 ○親亡き後の生活が不安である。グループホームの数が不足している。市も関わって、段階に応じた場所を作ってほしい。
就労	○職場での関係は、うまくいっている。コミュニケーションを心がけることが一番である。 ○新型コロナ感染により、仕事が少なくなっている。 ○会社経営の立場としては、知的障害者の雇用を上げていきたいが、経済的に厳しい状況もある。
障害福祉サービス	○ヘルパーとの関係はよい。買い物、入浴サービスを受けている。調理、掃除なども教えてもらっている。 ○福祉タクシーの助成は身体2級までしか対象ではないが、4級までの対象にしてほしい。
災害	○新型コロナ感染により、避難所の密集が不安である。

E 発達障害者

項 目	内 容
地域生活	○相手の話していることが途中で理解できなくなる、うまく言葉が出てこないなどコミュニケーションが続かない。話すスピードを遅くしたり、紙に書くなどしてほしい。 ○新型コロナ感染の影響で、仕事が休みになり、リズムを崩している。また、仕事を再開しても辛くなり、健常者が大変な場合は、それ以上に大変であり、変化が苦手である。 ○親亡き後のことが不安である。相談窓口、受け入れてもらえる場所が必要である。
就労	○就職する場合、障害のそれぞれの特性を理解したうえで、紹介や仕事内容を決めてほしい。 ○発達障害者の就労では、障害の内容を十分理解したうえで、仕事の指示などをしてほしい。 ○就労する場合、相談できる人がいると、その場で解決するため、そのようなサポーターをつけてほしい。 ○日本での就労は、その場に合わせるという考え方であるが、就労する人に合わせるような社会になってほしい。
障害福祉サービス	○相談できる体制がほしい。 ○コミュニケーションの訓練をしてほしい。 ○相談は、障害者本人の状況を十分配慮して行ってほしい。 ○大人の発達障害を支援する場所がない。障害福祉サービスを知らない人もいるので、サポートする人が必要である。
災害	○災害時の不安は大きい。 ○ふだんから外出できないため、災害時も家から出られないと思うので、避難所に行けない。市では、家での避難者に対して支援はあるのか、また、その場合どうすればよいのか不安である。 ○発達障害の人が、なぜ避難所に行かないかという理由を知ってほしい。事情は一人一人違っている。 ○発達障害やひきこもりの人には、事前に避難所を見に行く機会が必要ではないか。避難所の様子は、通常時と災害時とでは全く異なっていると思うが。 ○新型コロナ対策で避難所で仕切りが考えられたことは良かった。
教育	○高校生になってから自閉スペクトラム症と診断されたが、それまでの学校で辛い時期を過ごしており、学校で早い段階から理解してほしい。
行政	○発達障害では、通常低年齢で発現する障害となっているが、大人になってからわかる場合もあり、そのような人たちにも配慮した計画づくりをしてほしい。 ○新型コロナ感染の関係で、若い人の市民健康診断がなくなっており、不安である。

F 精神障害者（本人）

項 目	内 容
地域生活	○バスの本数が減少してきた。特に、土日の本数が少なくなってきたので困っている。 ○地域の人にいくらか払って乗せてもらう交通システムがあったらよい。 ○車がなくなると、買い物などが困る。住める場所が限られる。 ○今後、今の仕事だけの給料だけで成り立つのか、安心できる暮らしがしたいが不安である。 ○グループホームでは、支援員など相談できる人がいるのでさみしくないが、一人になると環境が変わってどうなるのか不安である。 ○高齢になると、誰かと一緒にいたい。（グループホームなど） ○困ったことや不安な時に、すぐに相談できるよう誰かとつながってほしい。 ○近所の人と交流（日役や祭りなど）が持てればよいと思っているが、病気になってから参加していない。 ○家で、電灯が切れたときに取替えができないので、そういう時に頼める人があればと思う。
就労	○仕事はしたいが、できる環境がない。 ○職場の雰囲気が変わってきて、罵倒されたりしても相談できる人がいない。 ○一般の会社で薬を飲みながらでも働ける場所がほしい。 ○障害者枠でパートより短い時間の働き方ができて、働き方を自分で決められればよい。 ○仕事の紹介やマッチングをしてくれるところがほしい。 ○体が元気なので高齢になっても働ける場所がほしい。 ○障害に対する理解のある産業医などがいてほしい。
障害福祉サービス	○今は自分ができる範囲のことをしているが、今後、高齢になって身の回りのことをしてくれる人が必要になったときには、ヘルパーを利用したい。 ○遠方の買い物を手伝ってほしい。 ○通院時のタクシーなどの助成があれば助かるので、対象者を拡大してほしい。 ○豊岡市にグループホームが少ない。
災害	○災害時は避難への不安があったり、避難のタイミングが判断できない。 ○避難所に行く前に、人づきあいができていない人や、障害がある人が、地域活動支援センターなどに集まることができたら安心である。 ○長期間一人暮らしをしているが、災害時は短期入所に行きたい。
その他	○動物とふれあえるアニマルセラピーの施設が欲しい。 ○手話など自分が支援する方になりたい。

F 精神障害者（保護者・支援者）

項 目	内 容
地域生活	○就労継続支援事業所に行くようになって、日常生活にリズムが整うようになってきて良かったと思っている。 ○安定した日常生活を送ってほしい。今は、親が元気で病院への送迎などできるが、親亡き後のことが心配である。（親亡き後の問題）親亡き後は、行政にお願いしたい。 ○長期的に相談できる人が必要である。 ○当事者同士のつながりができることを望む。 ○J R運賃の助成をお願いしたい。全但バスは半額になっている。
就労	○親としては、わずかな時間でも仕事をしてほしいが、なかなか就労できていない。 ○精神障害者の特性などをよく理解して、短時間就労の組み方、会社内の組織体制などの見直しを進めてほしい。 ○短時間就労の場合は、送迎・交通の問題が生じてくる。 ○精神障害者には、向いている仕事とそうでないものがある。 ○一つの事業所でも精神障害者ができる仕事に複数の選択肢があることを望む。その方が、本人も仕事がしやすい。
障害に関する理解、啓発等	○地域や市民の方に障害を理解してもらうように継続した活動ができている。その活動での研修会などで参加できなかった方にも図書館を活用した啓発や理解の取組をしてほしい。 ○学校と子どものことについて話をしたが、精神障害について、全く理解をしていないと思った。直接、本人に接してもらわないと障害のことがわからないので、そのような研修を望む。 ○計画書で、包摂の社会というのがあるが、包摂とはどのような意味か、一般の人にもわかるようにしてほしい。 ○発達障害は大きく扱われるが、それに比べて精神障害の扱いはどうなのか疑問がある。
公的な施設整備	○施設の老朽化が進んでいるのであれば、リフォーム等の公的支援をしていただきたい。福祉センターなどの箇所を増やすことはあっても減らすことはないようにしてほしい。
障害福祉サービス	○グループホームでは、定員が一杯で受け入れてもらえないことがある。スムーズな受け入れができるようにしてほしい。 ○ショートステイを申請したが、いろんな手続きが必要で数ヶ月かかると言われた。もっと早くならないものか。
災害	○当事者が一人で生活しているわけではないので、特に不安はない。 ○災害時は基本的に振興局に避難することになっているが、不安が大きい。 ○災害時は、家にとどまるしかないと思っている。
行政	○福祉医療について、精神手帳2級までの対象としてほしい。 ○養父市の障害者への取組は進んでおり、豊岡市でもそのようにできないか。 ○精神障害を広くわかってもらえるようにしてほしい。精神障害者が少しでも、自分のしたいことをできるようになればと思っている。

G 重症心身障害者

項 目	内 容
地域生活	○豊岡病院やアイティのエレベーターが狭くて利用しづらいので、改善してほしい。横になった状態で乗るリクライニング車椅子の重症心身障害児者が、利用できるようになっていない。 ○入所型の療養介護型施設を早急に整備してほしい。県内でも但馬圏域は面積も広いので、施設がないと遠方まで行くことの負担は大きい。 ○放課後等デイサービスの施設を増やしてほしい。
障害に関する理解、啓発等	○子どもも大人も、障害、特に重症心身障害への理解がないので、その啓発を進めてほしい。
障害福祉サービス	○ヘルパーや訪問看護などで家に入られるのを、家族が嫌がる場合があり、サービスを利用しない理由も知ってもらいたい。 ○母親がコロナに感染した場合、誰かに見てもらえるのかという問題がある。いつも利用しているショートステイ先があれば、そこが一時的に利用できるが、突然行っても利用できない。 ○障害福祉と医療との関係について、重心の子どもを病院に入れる場合、ヘルパーに入ってもらったが、実際は何もできなかった。(看護師の業務であるため。) 慣れた人が食事や排せつ等の世話ができないのは問題である。 ○日中一時支援は、看護師がいつもついてくれているので満足している。 ○豊岡病院では、ショートステイはできるが、泊まりの利用はできないので、それに対応するサービスが可能となるようにしてほしい。
コミュニケーション支援	○障害の特性が違うため、個別で対応する必要がある。
災害	○災害時では、避難の判断が難しい。また、どこに逃げればよいかわからないので、結果的に自宅になる。 ○避難所では、特に、電源の確保が重要であるが、それが可能な避難所があるのかもわからない。何があるかの情報がほしい。 ○一時的には決められた避難所に避難するが、そこで過ごせない場合は、協定で結んでいる施設に行くことになっている。 ○災害マニュアルはあるということだが、それを理解されていない場合があり、徹底した周知が必要ではないか。
教育	○小学生が珍しい目でのぞいてくる。子どもへの、障害児に対する教育を進めてほしい。障害は身体・知的・精神の3障害だけではないこともしっかりと教育してほしい。周辺自治体では、交流会があるところもある。
行政	○重心では看護師が必要になるが、高齢介護でも必要であり、看護師の確保が大変なため、看護師人材登録のような仕組みが必要である。ただ、重心の場合は、医療的ケアに対する経験が必要なので、研修も必要になる。

H 障害児

項 目	内 容
地域生活	○親は年を取ってくるので、子育てはいつ子どもを自立させるかが重要であり、それを考える必要がある。 ○親亡き後のことが不安である。
就労	○一般就労は難しく感じている。地域の理解が必要である。
障害福祉サービス	○放課後等デイサービスは、保護者が仕事をしていて送迎が難しいため、送迎をしてほしい。 ○5歳児健診で発達障害が見つかることで対象者が増えているが、障害児が利用できる施設が増えていないことが問題である。
教育	○特別支援学校のキャリア教育に参加したが、将来のことを考えるのにとても参考になった。市でも、そのように保護者が勉強できる機会をつくってほしい。 ○小学校、中学校で、次年度の状況がわからないので不安が大きい。 ○市内の聴覚特別支援学校高等部がないため、つくってほしい。 ○知的障害、聴覚障害など複数障害になっている場合でも、特別支援学級では単一障害でしか学級編成をしてもらえない。
相談支援	○小学校に行く前に相談できる機関が少ない。一番わからない時に相談できる場所があったらよかったと思う。 ○就学に関する相談の対応は、園の先生の専門性によるため、先生のスキルアップをしてほしい。 ○市の教育相談に行き、サポートしてくれる先生をつけてもらえるのかと思っていたが、「どういう相談ですか。」という程度で終わった。また、「これから行かれる小学校に行って相談してください。」と言われた。もう少し具体的なアドバイスがほしかった。 ○教育相談では何も言ってもらえないので、結局、経験者から聞いてわかるが、そういうつながりのない人には、情報が入らないことになるので、改善してほしい。 ○今後のことを知って準備ができることが良いと思うので、早くから情報入手できる場所が重要だと思う。 ○相談できる人の雇用を増やすことが必要である。
行政	○教育委員会と福祉の担当課が連携していない。 ○市の教育支援委員会に、福祉の職員も入った方がいい。 ○乳幼児健診を受けていたが、様子を見るように言われ、5歳児発達相談でようやく発達障害がわかった。早期に発見してほしい。 ○放課後児童クラブの指導員も、障害の専門性をもった人を配置してほしい。 ○市の方が勉強されていると思うが、障害のある人ともっと関わって接遇を向上させてほしい。子どもの障害のことでショックを受けているため、親切に対応してほしい。